

創刊第10号にあたって

守勢から転じ「国家意思」を示せ 防衛予算2%と「反撃能力」確保を

日本を取り巻く環境は中国、ロシア、北朝鮮からの軍事的脅威の高まりとともに、一段と厳しさを増しています。

政府は「国家安全保障戦略」など、いわゆる安保3文書の年末までの改定を急いでいます。しかし、大事なことは中身です。亡き安倍元首相が打ち出した防衛予算の「GDP比2%」は、国家としての「意思」を国内外に示す意味もあります。

北朝鮮の相次ぐ弾道ミサイル発射は、具体的な「反撃能力（敵基地攻撃能力）」を持たない防衛が無力であることを私たちに教えています。

中国は習近平総書記が16日の共産党大会を経て3期目に入ります。毛沢東を超える存在となるため、いずれ「台湾統一」に動くでしょう。中国は敵への偽情報工作による「認知戦」も重視します。沖縄からの「基地があるから狙われる」との声を耳にする

と、既にその作戦の渦中にあるのではないかと心配になります。

ロシアは自ら始めた侵略戦争で窮地にあるものの、戦況は楽観できません。そうした中、ウクライナのゼレンスキー大統領が「北方領土が日本固有の領土である」ことを確認する文書に署名しました。日本にとっては、八方塞がりの領土問題を国際世論に訴える好機です。

国内に目を転じると、開催中の国会での立憲などの関心は旧統一教会問題ばかりです。憲法改正にも国防にも目を向けないまま、最終的に国民の信頼を得られるわけがありません。来春には統一地方選が迫っています。自民党など保守陣営は、反日教団である「旧統一教会」ときっぱり縁を切って守勢から転じ、迫り来る脅威から国民を守る覚悟や気概を示すべきです。

（内外政治研究グループ 代表宮田修一）

ネットTVで晒された 「沖縄反基地活動」の異常さ！

インターネット掲示板「2ちゃんねる」創設者のひろゆき（西村博之）氏が、沖縄の反基地活動の実態について、ツイッターやネットTV局で発言しています。活動の異常さが白日の下に晒されたという意味でも注目されます。（文末のQR参照）。

ひろゆき氏はネットTV「ABEMA Prime」の取材で沖縄県名護市辺野古の「キャンプシュワブ」ゲート前を訪れた際、現場に誰もいなかったため、今月3日、『座り込み抗議301日』の看板の写真とともに「（数字を）0日に

した方がよくない？」などとツイート。「（1日3回）ダンブが来る時に座り込んでいる」などとする活動家らが反発しました。

7日放送された同TVの番組で、ひろゆき氏は「なぜ、ここまでして押搦するのか」と切り出し、ツイートの意図を次のように説明しています。

「自衛隊は出て行け、米軍基地は出て行けと、それで得するのは誰なの？ ロシアと中国なんですよ。中国

とは戦争しないと（活動家のプラカードに）書いている。ああ、この人たちは日本の未来のためにやっているんじゃないやなくて、中国に有利な状況を作り出そうとしてみるんじゃないの？ と見えてしまっているよ」

ひろゆき氏は沖縄タイムスの記者にも「台湾有事に、誰が沖縄（本島）や石垣島を守るんですか」と迫りましたが、記者は正面から答えませんでした。

ABEMA Prime
10/7放送



国賊発言で処分 の村上議員 地元では「次の選挙は誰も推さない」

安倍晋三元総理を「国賊」と呼んだと報じられた衆議院・愛媛2区選出の村上誠一郎議員（70）について、自民党は12日に開いた党紀委員会（衛藤晟一委員長）で、発言は極めて非礼で許しがたいとして、1年間の役職停止処分としました。「総務会」からも外れます。

村上氏は発言について、「記憶は今でもない」と言っています。しかし、国葬を欠席することを記者団の前で発表した後、「財